

地域のかお シリーズ91



「今日の努力を夢や目標の実現につなげる生徒の育成に向けて」

宮崎市立佐土原中学校
校長 倉掛 高志

4月の定期異動により佐土原中学校に参りました、倉掛高志と申します。教職生活の4分の1近くを佐土原町内の学校で勤務することになります。どうぞよろしくお願いいたします。

佐土原中では現在、264名の生徒、各ご家庭とともに、日常生活の中でコロナ禍における感染拡大防止に努めながら、生徒たちは、一日一日を大切にできるよう教育活動に取り組んでいます。

それでは本年度の佐土原中学校の教育の概要についてご紹介いたします。

【本年度の学校経営ビジョン】

「“Chance・Challenge・Change” かかわりと見届けを大事に組織的・協働的に指導するチーム佐土原中の中で、自己有用感を高めながら夢や目標の実現に向かって努力する生徒の育成」

この「学校経営ビジョン」を具現化するため、次の努力事項に取り組みます。

- 1 確かな学力の向上：進路意識の高揚を図るキャリア教育の充実と何ができるようになったかを実感させる授業の構築
- 2 豊かな心の醸成：主体的な生徒の活動や相手意識を大切にする 人権感覚の高揚による「居場所」と「絆」づくり
- 3 健やかな体の育成：実践的な安全教育、健康診断の結果を踏まえた健康な体づくりや心地よい汗をかく運動習慣の育成

7月23日（土）の佐土原夏祭りでは、会場のアナウンスやスタンプラリーなどの運営に生徒がボランティアとして参加し、生徒の姿がよかったと事務局の方からお褒めの言葉をいただきました。

今後も、ご家庭や地域の方々、佐土原地区の小・中学校とともに連携を図りながら、佐土原っ子であることに誇りをもって生きていけるよう、子どもの育成に努めて参ります。今後とも、本校の教育活動へのご理解・ご支援をどうぞよろしくお願いいたします。



【生徒総会】

各教室と生徒会役員等の本部とをZoomで結んだオンラインにより行いました。全校討議テーマ「考動」～周りの声に気付き、仲間を思いやる～に向けて、事前に学級討議を3回重ね、真剣な協議ができました。



【防災教室】

宮崎土木事務所からの土砂災害に関する講義後、各教室に戻り、タブレットでハザードマップを確認。その後、白地図に自宅や通学路周辺の危険箇所を書き込み、災害を想定してグループで意見を交換しました。



【いじめ根絶集会】

本年度は、宮崎県のいのちの教育週間に、縦割りの異学年交流グループに分かれ、手法「哲学対話」を取り入れて行いました。3年生のファシリテーターにより、個の意見・考えをグループ内で深めていきました。



【2年半ぶりの参観日】

コロナ感染拡大予防のため中止していた参観授業・懇談会を、7月1日、2年半ぶりに実施しました。学級担任によるワークショップ「人権学習」の授業を行いました。コロナ感染急拡大の直前に実施できました。